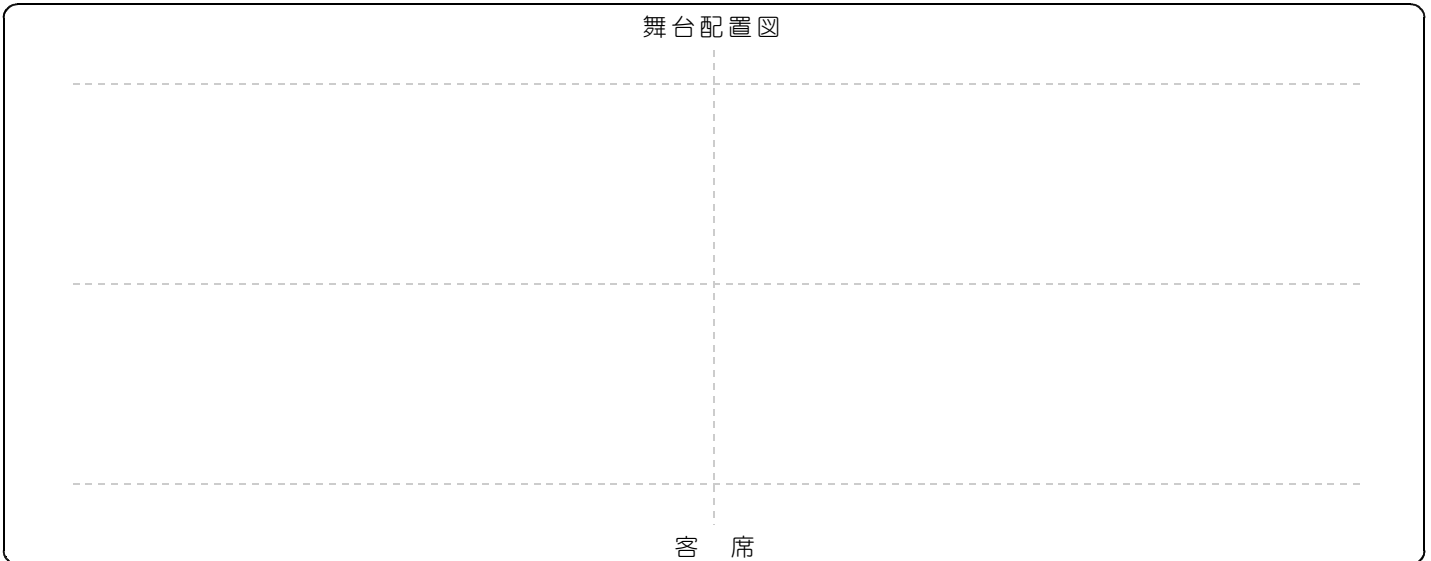


No.	枯 野 砧	演奏者数	演奏時間
-----	-------	------	------



表示記号一覧	- 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ モニター	□ 毛氈	W 屏風
立奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44	編成： 三絃	尺八
第1三絃	本 調 子		
尺八			

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1973年 委嘱者 - 構成 三弦・唄（箏十七絃＋尺八） 時間 16分 出版楽譜 前川出版

解説 作詞・垣田 昭 <歌詞> めぐり来る、三年の秋の枯野原。人目も草も枯れがれの、忘らるる身のあわれさよ。風の行方の便りさえ、音信もなき淋しさに、ただ秋風の身にぞしむ。着つつなれにし小夜衣、八千代とかけし行末の、妹背の契り深み川、濡れし想いの手枕も、今は涙にうきしずみ、かいたなき夜のものうさよ。風よ風。ふるさとにひとり待つ、わがしのび音に、かなしき歌をや、歌いてよ。我れはただ、つめたき砧を打ちつづけ、情なき人に知らせばや。都辺にこそとどきしか、人の心にとどきしか、声も枯野の虫の音の乱るる草の露涙。うたかたの、あはれはかなき身の行方かな。

原曲は舞地として、唄、三弦、箏、十七絃、尺八の編成で作曲されたが、後になって三弦による弾き唄いの形式に改定された。1973年7月作曲。〔作曲者〕

収録媒体 沢井忠夫アンソロジー 凜 沢井忠夫—作品集ライブ (MISH-0006)

沢井忠夫 三弦の軌跡 (COCJ-31121/2)